

ひかりの丘

2024.7
第108号

社会福祉法人 いわき福音協会 福島整肢療護園



〒970-8001 福島県いわき市平上平窪字古館1番地の2
TEL. 0246-25-8131 FAX. 0246-22-1259
<https://ryogoen.jp> E-mail. info@ryogoen.jp



Contents もくじ

▲中庭で季節を感じながらのランチタイム

園長の言葉	2
NEW FACE 新入職員紹介	2-3
りょうご園の活動	4
りょうご園カフェへようこそ!	4
もえるぜ 熱血くん!!!	4
7月からインスタグラム開設	4
編集後記	4





園長の言葉

福島整肢療護園
園長 吉原 康



園長としての療護園での生活や雑多な思いについてお話をさせていただきたいと思えます。

月曜日の朝6時出勤。(6時半から療護園の朝食の検食があります。)メールや書類の整理をしながら7時半、病棟回診。8時から朝礼。毎朝、聖書朗読、讃美歌を歌います。(毎週これらの箇所を選ぶのも私の仕事です。)8時10分から同僚とラジオ体操の音楽に合わせて4分間のスクワット。(もう10年以上続けています。)

8時半から診察開始。お昼休みを経て午後1時半から6時まで外来診察。(月、火、木)午後7時前に病棟回診を終えて医師宿舎に戻ります。夜は何もなければ様々なZoomが週に2-3件、9時から10時くらいまでかかることが多いです。

夜12時までは趣味の時間。ノートパソコンを当直室に持ち込んで、Desk Top Music (DTM) を作成しています。

泊まり込みは週によって違いますが、月曜日から木曜日又は金曜日の夜7時まではずっと療護園内にいます。

今年2月に人生初めての手術をして、残された人生を改めて考えるようになりました。今年4月からは医師の働き方改革が本格的に始動しましたが、健康管理も含めて誰もが安心して仕事ができる仕組み作りを自らが実践していかなくてはなりません。

そこで昨年春から始めたのが前回の記事でも触れましたが、職場におけるウェルビーイングの推進です。

療護園では昨年度から『療護園ウェルビーイングプロジェクト』と『療護園活性化ミーティング』という2つのプロジェクトを立ち上げ、それぞれ毎月1回、業務時間外に2時間ほどのZoomミーティングをしています。更にウェルビーイングを推進するために、専門の外部講師を招いて管理職のコーチングやホワイトボードミーティング、プレイバックシアターという即興劇を利用したワークショップなども、療護園という枠を超えて法人内の職員に向けて広めていこうと考えております。

ウェルビーイングはもちろん、職員の幸福のみを追求するものではありません。恐らく全国のどの地域でも、医療職、福祉職の人員不足や過重労働により、多くの人々が本来志していた医療、福祉を置き去りにせざるを得ないほど疲弊してしまっている現状から脱却し、利用者やご家族の皆さまはもちろん、誰もが幸せな状態であることを目指しています。

そのためにもうひと頑張りしていく所存です。

最後に私事になりますが、来る2024年8月17日(土)18:30から、いわき芸術文化交流館アリオス小ホールで、私が若い頃に作曲したピアノ曲を集めてひとつの『少女』という音楽劇にしたコンサートを開催します。ピアノを演奏してくれるのは私のもう一つの趣味であり生きがいであるプレイバックシアターを通して知り合った東北大学医学部の現役の学生さんで、彼らに劇の演出、脚本などを全てお任せしました。

最後までお読みいただきありがとうございます。ありがとうございました。



New Face

新たなスタッフの皆さんです。
以前からのスタッフともども
今後ともよろしく
おねがいします!

新人職員紹介



かなざわ そういち R6.4 入職
医師 金澤 壮一



みなさま初めまして。縁あって4月から福島整肢療護園にお世話になっております、金澤壮一と申します。出身は地元いわき市です。福島県立医大を卒業し、精神科医として県内の病院にて研修を行なってきました。大学では児童グループに所属してきました。

晩婚でしかも子どもを授かるのが遅かったので、嫁さんと「老老育児」と相連れみながら、ただいま絶賛子育て奮闘中です。これまで一人で大きくなった気でいましたが、今になってようやく親の苦労や有難みが分かるようになった私です。

精神科では、子どもからお年寄りまで幅広い年齢の方を診療対象としています。また、支援する方を支えることが大切だと考えており、患者さんだけでなく家族のみなさんもより良い生活を送ることができる様に必要に応じて市、保健所などの行政機関、幼稚園、学校など教育機関、職場、介護、福祉なども連携を取りながら診療を行なっていきたいと考えています。

地域の貴重な社会資源である学校を支える、ということにライフワークにしています(言うは易くですが……)。これまで診療や事例検討会などを通じて得られた学校の先生とのつながりに児童思春期診療が支えられています。私の大切な宝物です。

患者さんの病気を治すことはもちろんですが、併せて、その人の成長を支えていける様な診療を行なっていきたいとも考えています。よき同伴者たれ、です。

もうひとつ。当園は看護部、療育支援部、リハビリテーション部、診療部(薬局、放射線科、検査科、栄養給食課)、医局、事務部など多くの部署、専門職から成り立っています。職員一人ひとりが希望を持って働けて、チーム医療が円滑に進むような職場作りに努めていきたいと思っています。よき黒衣たれ、です。

これから、どうぞよろしくお願いいたします。

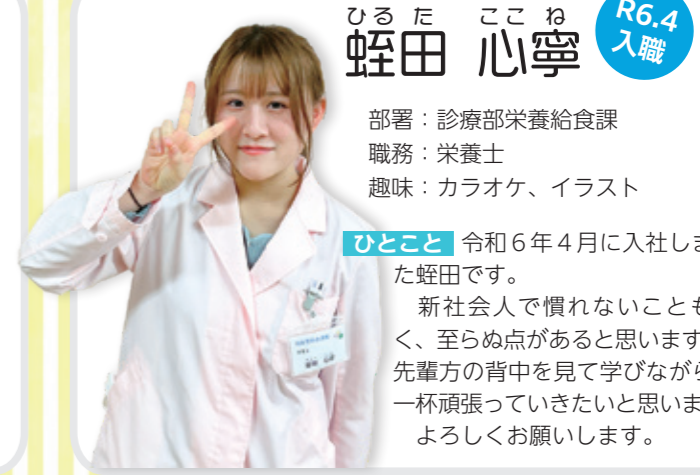


とみ おか あつひろ R6.6 入職
富岡 敦宏

部署：看護部
職務：看護師
趣味：散歩

ひとこと 令和6年6月に入職しました富岡敦宏です。

前職でも重病棟に勤務していました。一日でも早く仕事に慣れ、患者様に寄り添った看護を実施していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



ひる た ここね R6.4 入職
蛭田 心寧

部署：診療部栄養給食課
職務：栄養士
趣味：カラオケ、イラスト

ひとこと 令和6年4月に入社しました蛭田です。

新社会人で慣れないことも多く、至らぬ点があると思いますが、先輩方の背中を見て学びながら精一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

かじ なおこ R6.4 異動
鍛冶 奈保子

部署：リハビリテーション部
職務：作業療法士
趣味：配信ドラマ鑑賞

ひとこと エデンの家から異動して来ました鍛冶です。

関わらせて頂く皆様の笑顔につながるよう、新たな気持ちで多くを学んでいきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



かも ゆりか R6.4 異動
鴨 祐里花

部署：療育支援部
職務：生活支援員(児童指導員)
趣味：音楽・DVD鑑賞(特に好きなアーティストの♡)

ひとこと 今年の4月より、野の花ホームより異動してきました。

1日でも早く仕事に慣れ、利用者さんと一緒に楽しく過ごしていきたいと思っています。

安心・安全な支援を心掛けますのでよろしくお願いいたします。



いとう ちづる R6.4 入職
伊藤 千鶴

部署：リハビリテーション部
職務：理学療法士
趣味：絵を描くこと、食べること

ひとこと はじめまして。4月に入職しました伊藤です。

利用者様に寄り添うことを忘れずに、先輩方を参考に多くを学んでいきたいです。

理学療法士として貢献できるように精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



わたなべ さき R6.4 入職
渡邊 咲希

部署：リハビリテーション部
職務：理学療法士
趣味：ドラマ鑑賞

ひとこと 4月に入職しました、渡邊です。

小児領域のリハビリについては初めて学ぶことが多いため、これからたくさんの方の事を吸収できるよう精一杯頑張りたいと思っています。

至らぬ点ばかりかと思いますが、よろしくお願いいたします。





りょうご園の活動



福島整肢療護園の裏にある駐車場から大きなタケノコを発見。
入園者さんと一緒に初めてのタケノコ掘りに挑戦しました。

「こんな大きいタケノコを見るのは初めて。中庭にこっそり植えて、みんなを驚かせてあげよう!!」

掘ったタケノコは、大き過ぎて食べることは出来ませんでした。皆でタケノコの皮をむいて、美味しくいただきました。ごちそうさまでした♡



このコーナーでは、当園のスタッフが好きなこと、気になることなどをおしゃべりします。スタッフの新たな一面がわかるかも!



第21回は、事務部 草野 淳次長です。

こんにちは。映画と小説とカフェをこよなく愛する事務部の草野です。

そんな私から、皆さんにおススメの映画と小説、そして居心地goodなカフェをご紹介します。

先ず、洋画からは「ショーシャンクの空に」です。こちらは、自分の正義を貫き通す行動力と思考力、そして、時間の大切さが痛いほど良くわかる、涙なしでは語れない珠玉の作品です。邦画からは「ラブレター」です。中山美穂さんがとてもステキです。この映画からは、岩井俊二監督の繊細さが伝わってくると同時に、人を想う大切さを知ることが出来る愛溢れる作品です。



続いては、小説をご紹介します。直木賞作家でもある荻原浩さん著の「メリーゴーランド」です。色々な困難にも負けず、出来ない理由ではなく出来る理由を考えたいくなるスペシャルな1冊です。

最後に、カフェをご紹介します。私は、大好きな映画のパンフレットや小説を読みながら、大好きな場所「晴レル家」でコーヒーを飲むのが仕事へのモチベーションに繋がっています。

自分の好きなものをそばに置くことで、心地良い時間になります。皆さんもぜひ、映画を観たり、小説を読んだり、カフェに行ったり……きっとステキな時間が流れると思います。

編集後記

ひかりの丘第108号をお読みいただきありがとうございます。新年早々、能登半島地震や旅客機の事故と、衝撃的なニュースが飛び込んで来ました。忘れかけた東日本大震災を思い出し不安になりました。自分なりの地震対策をしなくてはと思い家具類の転倒防止の強化や備蓄品の見直しなど再チェックしていきたいと思

ます。前回は療護園のブログを紹介しました。みなさん見て頂きましたか？ 今後も療護園のことを沢山知ってほしいので、インスタグラムも開設します。こちらもぜひ楽しみにして下さいね。——西山



7月からインスタグラム開設

7月から、療護園のインスタグラムが開設となります。

療護園で働く職員にフォーカスしつつ、時折、利用者さんやご家族の皆さんにもアプローチしたいと考えています。

楽しい療護園情報を発信していきますので、フォローよろしくお願いします(^_-)☆

